2022年度(令和4年度)　ケーブルテレビ久喜放送番組審議会
議事録

１．開催日時　　2023年3月28日（火）11:00～11：50
２．開催場所　　栗橋コミュニティセンター「くぷる」（久喜市中里1048-1）
３．委員の出席　審議委員総数　　５名
　　出席委員数　　５名

■出席者（敬称略）

梅　田	修　一	会　　長	（久喜市長）
小　林	英　一	副 会 長	（久喜市商工会会長）
田　口	勝　夫	代理出席	（久喜市観光協会事務局長）
柳　澤	弘　利	委　　員	（一般社団法人久喜青年会議所理事長）
内　海	弘　美	委　　員	（女と男いきいきネットワーク久喜代表）

■ケーブルテレビ株式会社　出席名

髙　田　　光　浩（代表取締役社長）
中　沢　　利樹男（取締役統括部長）
米　田　　努　（営業部 部長）
清　水　　研　児（コンテンツ部 地域プロモーション課 課長）
平　野　　泰　平（コンテンツ部 地域プロモーション課 埼玉TVグループ係長）
家　田　　愛　（コンテンツ部 地域プロモーション課 埼玉TVグループ主任）

４．報告事項

【全体】

（１）委員の委嘱に関する報告
（２）放送エリア及び加入状況に関する報告
（３）ケーブルテレビ㈱の取り組みに関する報告
（４）その他の活動

質問・回答　質問・回答なし

【コミュニティチャンネル関連】

（１）2022 年度の取り組み

（２）チャンネル構成

（３）主なレギュラー番組

（４）主な特別番組

質問・回答　質問・回答なし

５．議事

（1）ご視聴番組に対してのご意見・ご質問（①～④）

① く・わ・し・く彩たま９月２６日号

【委　員】稲刈り体験の話題。栗橋小学校で 30 年以上続く伝統的な行事。小学 5 年の児童たちが自分たちで育てた稲を自分たちで収穫するもの。子どもたちが生き生きと収穫を楽しんでいる様子が印象的だった。またコンバインに乗った児童のコメントで、コンバインがない時代の苦労を実感したとのコメントから、子どもたちにとっても良い機会だったことが分かった。モラージュ菖蒲アートアワード受賞式の話題は、全国から 76 作品の応募があり素敵な作品ばかりだった。総支配人のコメントでもあったが、この取り組みが長く続いて、久喜市内外でも認知されて、多くのアート作品が集まるようなイベントになってくれたら嬉しいと感じる。このような情報発信をこれからもお願いしたい。ボッチャ大会では、大会をテレビで取り上げてもらうことで、競技人口が増えることが期待される。団体の活動状況についても番組で引き続き取り上げてもらえるとありがたい。

【委　員】ニュースの映像をみて、自分自身が久喜の情報をキャッチできていないということが分かった。とても勉強になった。

【委　員】自分が住んでいても知らないイベントなどが紹介されていたりするので、ケーブルテレビでいろんな情報を取り上げてほしい。

【委　員】様々なイベントを放映してもらえている。12 月には、らき☆すたのイベントも取材してもらって、観光協会にとっても PR をサポートしてもらえている。市民の方を撮影放映してもえて、地元の人が興味を持ってもらえる番組作りをしていて感心している。

【委　員】久喜に住んでいるが、久喜の情報をいかに知らなかったかを痛感した。若い人はネットとか、配信の時代。いろんなことを発信してもらうというのは、いろんな情報が得られて良い。子どもを取り上げてもらえるのは、親御さんやおじいちゃんおばあちゃんなどいろんな人に興味を持ってもらえる。子どもをもっと取り上げてほしい。

② スポ SHOW！「栗橋ユニティーガールズ」

【委　員】番組のネーミングが素晴らしい。子どもたちが真剣にスポーツに取り組んでいる表情が映像から伝わってくるとても素晴らしい番組。子どもたち自ら監督やコーチにインタビューをする姿が大変面白いと感じた。スポーツに関心があるので、このように取り上げることで市内のスポーツ少年団を活性化し、参加者が増えれば良いと感じた。試合の様子では、実況も入って関係者にとっては思い出に残る番組になっている。

【委　員】必死に頑張っている姿を見ると応援したくなる。バドミントンも是非取り上げてほしい。

【委　員】実況が独り言のような感じだった。解説者がいると良いと感じた。

【委　員】市内にはもっとスポーツ少年団があるので、取り上げてほしい。

【委　員】遠征や練習など親が大変のイメージがあるが、映像を見ると楽しそうな場面や思い出になる場面が映し出されていて、実際の映像は意味があるのだと感じた。

③ おおきくなったら「栗橋幼稚園」

【委　員】ケーブルテレビで長年愛されている番組と聞いている。番組の前半で、子どもたちがのびのびと遊んでいる様子、見ているととても癒される。テレビに映る事は思い出に残り、嬉しいことだと思う。番組後半の子どもの将来の夢を発表するインタビューでは、食べ物屋さんが多く、年齢が上がると Youtuber などが増えてくるので微笑ましく感じた。かわいらしく、夢が実現できるきっかけになると思った。お弁当を食べている様子なども撮影されていて、保護者にとってはどのような雰囲気で保育が行われているのかを確認できる貴重な番組。

【委　員】子どもたちの笑顔が可愛らしい。親御さんが作ったお弁当を食べているところを視聴した親はとても嬉しいのではないか。

【委　員】南栗橋地区もこれから人口が増えるから、毎年内容を改めつつ発信してもらえればと思う。

【委　員】お子さんが放送されると家族親戚が楽しく見られる。これから入園する予定の方々も園の生活が分かって非常に良い。十数年後、成人の時にこの時の映像を放送する、販売する、見ていただく機会を作ると、出演した本人も家族も違った意味で楽しめるのではないか。今後検討していってほしい。

【委　員】将来の夢の発表について意味を理解せず、隣の子が言った内容を同じように発表してしまう子もいると思うが、後で見返した時に「こんなこと言ってたっけ」とそれはそれで思い出になる。見ていてかわいい、癒される。「おおきくなったら」というキーワードを生かして、放送してほしい。喋れない小さい子どもたちを対象にした番組も作って欲しい。そうすることで市に定住してくれて人口増加のきっかけにもなるかもしれない。「おおきくなったら」というキーワードだとどうしても年長さん以上が対象となってしまうので。保育園を運営しているが、コロナで来園できない保護者のために園での映像を DVD にしている。自然な表情が映っているのですごく保護者に喜んでもらえている。このように保護者は園での様子が気になっているため、ケーブルテレビでも同様の事業をやると視聴者も増えるのではないかと思う。

④ くきかるたの風景「栗橋関所跡・菖蒲グリーンセンター」

【委　員】読み札を映像にするのは面白い。くきかるたを通じて、子どもたちや多くの人に久喜の魅力を感じて欲しい。補足説明も入っていて、現地へ出向くことができない人にとっても久喜の魅力発信に繋がる。

【委　員】くきかるたは、2021 年に久喜青年会議所主催で、子どもたちに地域をもっと好きになってほしいという目的で作ったもの。子どもたちが現地に自転車で赴き写真を撮り、読み句を子どもたちが考えた。かるたの絵をさかのぼって番組にしてもらえてありがたい。ナレーションがとても綺麗で素晴らしい。かるたの対戦の

際は激しく読み札が読まれるが、番組では和やかな雰囲気でとても良い。

【委　員】かるたの存在を初めて知った。地元の名跡を紹介しているので、ほかの部分でも利用して地域振興 PR をしていきしたい。番組を使わせてもらうことは可能か。

【CATV】:様々な形で提供可能です。他エリアでも放送を展開していこうと考えています。

【委　員】コロナもだいぶおさまって来てイベントが増えてきた、そういった場所でも「くきかるたの風景」を使って市を PR したい。素晴らしい番組だった。

【委　員】以前のかるたは久喜地区だけのものだったが、合併後は市全体ものが必要だと思っていた。静止画よりは動画は直接的に理解できる。かるたに書かれているような内容を観光協会でも作っていかなければならなかった。これを機に今後ケーブルテレビで作ってもらいたい。市には魅力がたくさんあるのに案外地元の人がそれを知らない。観光協会には市外からの問い合わせがほとんど。市内の人に魅力を知ってもらう効果があると思う。

【委　員】「く・わ・し・く彩たま」のような情報番組では、市がイベントなどを通して発展をしていることは伝わりやすい。対して、「久喜って程よい田舎で良いんですよ」という面は「くきかるたの風景」で表現することができている。新しいものと古いものを映像で紹介してもらえることはすごくいい番組、心和むなと感じた。特になかなか紹介できない古き良き部分を紹介できている。

（2）コミュニティチャンネル全般に関するご意見・ご質問

【委　員】各番組、全体的に子どもたちを多く取り上げている。元気いっぱいの子どもたちを見てもらうと久喜市を活性化することに繋がる。高齢者が対象のイベントも取り上げているので自分自身が楽しんでいる映像見ることもできる。幅広い世代の関心を喚起している。引き続きこまめに小さなイベントを拾っていただいて、たくさんの市民の笑顔を映像にのせてもらいたい。

【委　員】現在の埼玉エリア久喜市のケーブルテレビサービス加入率 30.7%という、この数字は高いのか。

【CATV】茨城、群馬エリアは30%超えていませんが、これらの地域は開局して７、８年・１０年経過しています。栃木エリアは40%。開局した時期に応じて利用者がじわりじわりと増えていくのが常となっています。開局が古い栃木エリア、特に旧栃木市は50%以上に超えていてコミュニティチャンネルを視聴いただいています。そのような経緯から見ると埼玉エリア久喜市については、開局して１年で30%となっていますが、南栗橋地域において別のケーブルテレビサービスでご覧いただいていた地域でもあり、それを我々が譲り受けてエリア化しコミュニティチャンネルを放送した経緯があります。まだ久喜市内においては利用可能な世帯数が5000世帯でまだ全域に至っておりません。これから市全域にエリアを広げていきたいと考えています。市内全域の方々が我々のコミュニティチャンネル等を含めたサービスを受けられるように準備していますが、広がるとパーセンテージは下がります。加入率を30%目指しながら進めていきます。これが１つの目標値になると思います。南栗橋地域以外にも加入に興味をもってもらっている現状です。

【委　員】ケーブル設置などの条件はあるが、開局１年で加入率30%は高いと認識して良いか？

【CATV】視聴者にコミュニティチャンネルに対して好評をいただいています。以前は別のケーブルテレビの映像が流れていた。我々は久喜のチャンネルを作って久喜の情報を放送しているため、以前からの利用者も、番組の質が上がったと喜んでいただいています。加入の広がりは早く今後も広がりが期待でき、土台はできてきていると感じています。

以上